

戸開走行保護装置

定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準

大臣認定番号

ENNNUN-1573,1574,1575
ENNNUN-2124,2125,2126

UCMP 型式

DBRGT-1,2,4 型
DBRGT-1A,2A,4A 型

発行 : 平成 30 年 6 月 25 日 Ver.2

	検査項目	検査事項	検査方法	判定基準
(1)	UCMP 盤	取り付けの状況	触診により確認する。	取り付けが堅固でないこと。
		型式	目視により確認する。 型式 : 21756ADR	UCMP 制御盤に取り付けられた銘板の型式が、大臣認定を受けたものと異なること。
(2)	待機型ブレーキ	取り付けの状況	目視及び触診により確認する。	ネジ・ボルト類の緩みがあること。 ロープに対して、適切な位置・角度に調整されていないこと。
		型式	目視により確認する。	型式が、大臣認定を受けたものと異なること。 型式 : 620(1574/2125)・622(1573/2124)・626(1575/2126) 型
		押付力の調整	目視により確認する。	ロープとパッドが適切に接触していないこと。 待機型ブレーキのみでかごを保持できないこと。
		パッドの厚さの状況	目視により確認する。	ブレーキパッドに印されている罫書き線を越えて摩耗していること。
		パッドの状況	目視により欠損、割れの状況を確認する。	パッドに欠損、割れがあること。
		油圧ユニット	目視により確認する。	規定の油量を下回っていること。 過剰に油の飛散があること。
		健全性の監視	保守ツールにて、常時 ON 故障検査手順を実行し、確認する。	動作しないこと。
(3)	待機型ブレーキ動作感知装置	作動の状況	保守ツールにて、常時 ON 故障検査手順を実行し、確認する。	機器故障と判定され、制止すること。
		寿命	経年を確認する	設置後 20 年を経過していること。
(4)	特定距離感知装置	取り付けの状況	触診により確認する	取り付けが堅固でないこと。
		作動の状況	動作位置を確認する。	昇降路の出入口の床面から±105mm 以内の位置で動作しないこと。
		劣化の状況	経年を確認する。	設置後 10 年を経過していること。
(5)	安全制御プログラム	型式	安全制御プログラムのバージョンを確認する。 型式 : 31589(1573/1574/1575) 31589AAB(2124/2125/2126)	大臣認定を受けたものと異なること。
(6)	電磁接触器 (SR1, SR2)	健全性の監視の状況	保守ツールにて、常時 ON 故障検査手順を実行し、確認する。	機器故障と判定され、制止すること。
		劣化の状況	動作回数又は経年を確認する。	設置後の動作回数が規定回数到着時、又は設置後 10 年を経過していること。 動作回数 SR1 : 100 万回 SR2 : 200 万回
(7)	かご戸スイッチ	スイッチの全閉位置からの距離	金尺等により測定する。	規定値を超えていること。 横開き : 5~6.5mm
(8)	各階乗場戸スイッチ	戸閉時フックのかかり代	金尺等により測定する。	規定値未満であること。 横開き : 9.5~15mm
(9)	かごのつま先保護板	取付けの状況	目視及び触診により確認する。	取付けが堅固でないこと。 著しい変形、破損、錆、腐食があること。
		長さ	かご床面からつま先保護板直線部までの長さを巻尺等により測定する。	所定の長さ(67.5cm)未満であること。

この印刷物に記載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

著作権所有 : 日本オーチス・エレベータ株式会社

戸開走行保護装置

定期検査及び定期点検の項目・事項・方法・判定基準

大臣認定番号

ENNNUN-1573,1574,1575

UCMP 型式

DBRGT-1,2,4 型

ENNNUN-2124,2125,2126

DBRGT-1A,2A,4A 型

発行 : 平成 30 年 6 月 25 日 Ver.2

(10)	システムの 機能検査	作動の状況	検査手順に従い、戸開走行状況を模擬し、戸開走行判定にて待機型ブレーキが作動、制止することを確認する。その後停止距離を測定する。	特定距離監視装置が感知しないこと。制止しないこと。制止距離の年次変化量が著しいこと。
			上記の戸開走行保護装置が作動した時、電動機電源及び待機型ブレーキの電源の遮断を確認する。	電動機電源及び待機型ブレーキ電源が遮断しないこと。
上記 (1) ~ (10) の検査結果で「否」又は別記第一号 2-(3)・3-(3)・4-(11) の検査結果で「要是正」又は「要重点点検」の判定がある場合、別記第一号 2-(9) 「戸開走行保護装置」の検査結果を「要是正」又は「要重点点検」と判定する。				
検査表には待機型ブレーキのパッドの写真を貼り付けること。				

この印刷物に記載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

版權所有 : 日本オーチス・エレベータ株式会社